

【半田市地域福祉計画推進及び策定委員会】意見等集約結果

議 題

1. (第2次計画) パブリックコメントの意見と回答について

同意9件／委員9名中

(ご意見等)

- ・インターネット検索したところ「パブリックコメント」の「再犯防止」を策定した県の中に愛知県が入っていなかった点も踏まえて「市の考え方」(関係部署と協議)で良いと思う。
- ・的確な回答だと思います。
- ・福祉の考えは地域住民、福祉事業者、福祉活動団体等幅広く多くの方々と協力しながら取り組むことになっておりますので良いのではないかと思います。
- ・市民の方から提出された意見に対し、「市」の考え方をていねいにお伝えすることが大切だと思います。取り組むことができる意見については第2次計画に反映できるといいとも思います。
- ・4に対しての市の回答ですが、どんなに工夫してもわかりにくいという意見は出てきますが、検討していることや、会議を重ねていることが、分かり易く伝える努力は常に必要であるということですね。
- ・**1**地方再犯防止計画の存在を知らず、コメントできません。**2**、**4**計画を市民目線でわかるものに！という期待をこめてコメントされていると思うので、そこは大切に受け止めるべき。**2**については、言葉で示すより具体例で示すことに賛成です。

2. 令和3年度ふくし課題プロジェクトについて

同意9件／委員9名中

(ご意見等)

- ・要支援者…具体的支援者の例として亀崎地区で①町内会長(部長)、②知人(お友達)、隣近所、④親類などがあつたと記憶。要支援者が望む人を支援者を選ぶ…という考え方も重要と思った。
- ・計画は十分な柔軟性を持ったものにする必要があると思います。具体的には支援をする人は第1は家族及び近隣の人、第2は地域の町内会及び民生委員等、第3は公的な消防及び市の組織で行う。そして、それらを並行して或いは重層的に実施する工夫が必要であると思います。またそれらの連携も重要であると思います。
- ・いろいろな災害があるのでそれにあつた計画を立てておく、又、要支援者および住宅確保もこれで良いと思われます。
- ・(1)の災害時避難行動要支援者個別計画の作成について、モデル地域、要支援者の選択をどのように進めていくのか難しいと思います。しかし、必要であるとも思いますので実施のための検討をしてもらいたいです。(2)の居住支援ガイドブック作成と見守り大家さん拡充について、当施設において、利用者が退所後、どこで生活するかは課題です。母の就労、子どもの保育、教育の環境等について考えなければなりません。残念な

がら、母子世帯だからという理由で物件の契約ができないケースも少なからずあります。居住支援の一環として大家さんの理解を求めることができるようになるといいと思います。

- ・今回の計画の特徴として期待していますので、動いているところを市民に見せれるようにしてください。
- ・同意しますが、コア会議で決められたことなので、、、
- ・(2)の居住支援に関しては私も名古屋市居住支援コーディネートモデル事業に携わっておりますので情報提供等ができると思います。

報告

3. 令和3年度事業予定について

(ご意見等)

- ・小・中・高生の育成は長い目で必要なれど、「ふくし人財」確保・育成（各種サポーター養成）に重点を置いてほしい。「その人」が地域・町内の核となり、輪を広げ、昔の「向う3軒両隣」の復活を望む。
- ・必要と思われる講座や集会はぜひ積極的に開催してもらいたいと思います。反対に、計画してあるが重要性が低いものは、はっきりと中止したほうが良いと思います。
- ・不安を抱える方を早期に発見、包括的、重層的、伴走的に支援となっているが言葉で終わるのではなく細かく説明し今までに成果のあった実例を挙げればわかりやすいのではないか。
- ・基本目標の中でも1～3の内容に関しては、地域の福祉事業所にどの程度の認知があるのでしょうか？ 管理者や代表は知っていても従事者は？ 従事者枠を設けて積極的に受講を促してはどうか？
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、地域でのサロン活動の制限があり、地域住民の「声」を聴くことができない状況でした。制限のある中で、いかに「声」を聴くことができるかを考えなければならないと思います。「ふくし相談窓口」について、当法人も協力できればと思っています。みらいてらす内「ならわの縁がわ」において実施は可能と思っています。
- ・コロナの影響があるなか、活動が大変ですが、工夫をして動かしてください。止まらないでほしいです。
- ・コロナ禍であっても「実施することを前提」として取り組むべき。やれる形を考え、実施することを希望します。

4. 重層的支援体制整備事業について

(ご意見等)

- ・本当に有効な活動になるかはこれからの取り組みにかかっていると思います。地域づくりにおいてはキーパーソンを見つけるのはなかなか困難を伴う課題だと思います。
- ・相談支援、参加支援、地域づくり支援、この支援に対し住民の人がどれだけ必要としているのか知っておくことも必要だと思う。
- ・この事業に協力をしていきたいと考えています。
- ・前述のとおり、当施設において「相談窓口」の役割を少しでも担うことができたらと

思っています。

- ・参加支援がどのように動いていくか楽しみです。社会資源の活用がどのようにされるか、期待します。

- ・現場では実際に「課題が複雑・複合的」事例には既に対応している。行政中での連携をより強めること。社協・民間とも連携するのが当たり前である体制をつくる。(各課職員が動きやすいこと)

5. 令和2年度ふくし課題プロジェクト（試行）について（経過報告）

（ご意見等）

- ・プロジェクトの皆様の努力に感謝します。その成果を支援を必要とする人及び市民に広く知ってもらうことが重要だと思います。

- ・特にありません。取り組みを継続してください。お願いします。

- ・特になし。

- ・今後に期待します！